



長崎大学

ISSN 1347-7994

CHOHO



創刊号

長崎大学広報誌【長報:チヨ-ホ-】

2002年10月(年4回発行)

Autumn

【特別インタビュー】
齋藤新学長が語る
長崎大学の近未来



【長報:CHOHO】について

広報誌「CHOHO」の名前は、長崎大学工学部社会開発工学科3年伊藤英孝君のアイデアで、「長崎大学広報」の最初と最後の文字をとった「長報」を、広報委員会広報誌企画・編集専門委員会でローマ字表記としたものです。

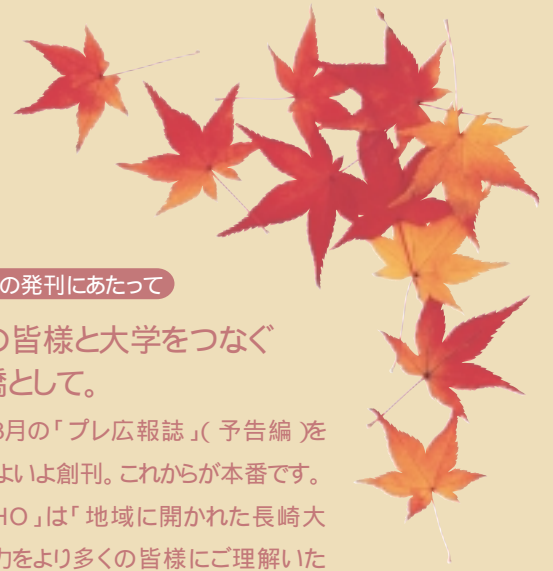
【表紙】について

「糸遊(いとゆう)」守屋 聡
長崎大学大学院教育学研究科(絵画領域)

木の枝に糸を結び、編むことで空間上に平面や曲面をつくりだした作品です。「編むことが制作のすべて」という作者は、「編みのひとつひとつは単純な線ですが、編み進めていくと糸のつながりが複雑に絡み合うようになります」。それはまるで人と人とのつながりを暗示しているかのよう。

CHOHOは、この木の枝や糸のように、長崎大学に対する地域の皆様一人ひとりの思いを結び、つなげる役割を果たしたいと考えています。それがいつか美しい編み目模様を紡ぎ出すことを願ってやみません。





創刊号の発刊にあたって

地域の皆様と大学をつなぐ
架け橋として。

今年3月の「ブレ広報誌」(予告編)を経て、いよいよ創刊。これからが本番です。「CHOHO」は「地域に開かれた長崎大学の魅力をより多くの皆様にご理解いただき、地域との交流をいろいろな形で展開していくこと」を目的に作っています。今後、地域の皆様と大学とをつなぐ架け橋として「CHOHO」が果たす役割はきわめて大きく、意義深いものになると信じています。

今回は創刊号にふさわしく、新学長に就任された齋藤寛先生へのインタビューを特別掲載。また長崎大学が世界に誇る『幕末・明治期 日本古写真コレクション』、『健康生活』も併せてお楽しみ下さい。

CONTENTS

- P01 【特別インタビュー】齋藤新学長が語る長崎大学の近未来
- P06 【幕末・明治期日本古写真コレクション 明治ジャパネスク】大浦天主堂
- P07 【プロジェクト発進】教育学部音楽教育講座
- P10 【いいたか放題】森 千夏さん
- P11 【健康生活】脂肪肝
- P12 【CAMPUS×VOICE】環境 【留学生のお国自慢】モロッコ
- P14 【キャンパス・ナビ】
- P15 【長崎大学シンボルマーク誕生秘話】
- P16 【学内探訪】熱帯医学研究所・熱帯感染症研究センター資料室
- P17 【インフォメーション】・【編集後記】



特別インタビュー

齋藤新学長が語る 長崎大学の近未来

CHOHO
01

二〇〇二年秋

長崎大学の新学長に就任した齋藤寛氏。

地域へそして世界へ向けて

さらに開かれた大学をめざして

今、どのようなことにチャレンジしようとしているのか。

現在、転換期にある日本の大学は

大学改革の問題、少子化による学生の減少など

難問はつきない。

そんな中、周田の大きな期待に応え、

齋藤新学長が語るさまざまなビジョンと抱負。

長崎大学は確実にのびやかな未来へ向けて動きだしている。



●●● 齋藤新学長ってどんな人？

橋口 新しく就任された齋藤学長は体どんな方だろうって皆さんでも興味を持っていると思います。「自身ではどんなタイプの人だと思われませんか？」

齋藤 難問ですね(笑)。あなたは自分自身をどんなタイプだと？

橋口 私は常にいろんな人に会うたりいろんな事にチャレンジしたいと思ってる、好奇心旺盛な人間です。

齋藤 そうですが私の場合はたとえば次の日に何かイベントがある時は非常に気になつて前の日は眠れないタイプです(笑)。周囲の人はそんなふうには思っていないようですが

もつと自分は自分の言ったことを相手の方がどう受け止めているかということが非常に気になる。その二つが僕という人間の一番の特徴だと思いますね。

橋口 これまでもいろいろなお話をする機会があったと思いますが緊張されるなんて意外ですね。

齋藤 そうですが、でもそれを自分なりに克服する方法があるんです。「二」は何がある前にはできる限り準備をすること。「三」目はなるべく自分の話すことを信頼でき、かつ意見の異なる人に聞いてもらいたい意見を求めるようにしています。



齋藤寛

長崎大学新学長
Hiroshi Saito

1937年長野県生まれ。
東北大学医学部卒業。同
大学大学院医学研究科博
士課程修了。カドミウムよ
る環境汚染と健康との関連
について、対馬・厳原町など
で30年間にわたり調査・研
究し、その影響を明らかにし
た。1998年長崎大学医学
部長に就任。2002年10月、
長崎大学長に就任。
主な著書は「慢性カドミウム
中毒」(長崎大学医学部)、「
炭坑閉山の島から学んだ
こと - 長崎県高島における
学際的研究の試み」(高島
町地域保健研究会)他。
趣味は読書、音楽鑑賞。

橋口 うん、なるほど。

齋藤 前もって準備するって言うので、医学部
長だった頃に比べるると今は副学長が一人、
学長補佐の方もいます。そうしたら方々の率
直な意見を聞いて準備ができます。自分ひと
りで行っていた時に比べるるといろいろな立場を
踏まえられ、幅が広がっていいですね。だけ
らこうして変に妥協するわけではありません
よ。まあ、学部長の時よりは今の方が楽しく
できるかも。そういう意味では私は楽観的
です。それも私の特徴のひとつですね(笑)。

橋口 ナーバスな面もあるけれども、実は、
結構……。

齋藤 ええ、よく、明るい人、っていわれてま
す(笑)。

橋口 それはすごい大層なことですよ。
ううん、齋藤先生のお名前ですが、下のお
名前は、寛(ヒロシ)と書いておいて、「寛」
と書いて漢字は「寛」で、珍しく「寛」
齋藤 は、「寛」の「ロ」は、「ハ」があら
んよ。



橋口 何か、「」をつける意味があったん
よっか？

齋藤 父親が付けたと思いますが、わかりま
せんね。私は、「」がなく「ちや」画意点睛を欠
く」と思っていますけど。(笑)

● 「寛さん」ファンで
キーボード好き

橋口 多忙な日々の合間になさっている、
趣味は何でしょう？

齋藤 趣味を言うのは恥ずかしいものです
ね。専門と関係のない蔵書の数はかなりある
ほうだと思います。

橋口 読書がお好きなんですか。

齋藤 よくいえばジャンルが幅広い。悪くい
えれば何が好きかわからない。その中で揃っている

ものといえば、全集ものを別にすると、「寛さ
ん」の映画に関する著作ですね。あと藤沢周
平と野呂邦暢も「ロシロウ」しています。

橋口 「寛さん」のファンなんですか？

齋藤 ええ、「寛さん」は「マリリンモンロー」
が好きなんです。

橋口 そうなんですか(笑)。

齋藤 私の部屋にはマリリンモンローの大きい
写真がたくさん貼ってあります。この他の趣
味としてはキーボードを聴くのが好きです
ね。

橋口 クラシックがお好きなんですか？

齋藤 クラシックっていうかキーボードだけ
です。それが二十年も聴いてますが曲のタイ
トルがわからない。そういうキーボードマン
は珍しいぞう(笑)。

橋口 曲のタイトルにはあまりこだわらず、
耳と心で楽しんでいるんです。

● 十九年前の大雪山の日 長崎へ

橋口 長野県の「出身だ」といいますが
長崎に来てくれたんですよ。

齋藤 昭和五十八年十一月一日からです
が、ちよつと十九年になります。

橋口 長年暮らしてみても長崎の魅力は何だ
と思われませんか？

齋藤 私にとって一番の魅力といえば、魚が

「言いつつですね、なにせ生まれが長野県ですから。ちなみに私が長崎に来ることになったのは、筑波の国立公害研究所にいた時、長崎大学医学部の教授の公募があり、それに応募して選ばれたのがきっかけです。大雪が降った日に三歳になる長男と家内と三人で初めて長崎の地を踏みました。当時、知り合いは誰一人いなかたんですよ。それから十九年間、大勢の方とおつきあいをし、仕事をやって来たわけです。今では私を活かしてくれた長崎を愛していると、いつかですね。」

●●● 学生が勉強するには
指導者の熱意が必要

橋口 ところで先生が学生だった頃と今の学生とはどつじつとした点が違つと思われませんか？
齋藤 私はあんまり違わないと思います。四十年前の学生当時、やはり勉強はあんまり好きではなかった。お金はありませんでしたがやはり遊んでましたね。

ただ現在は就職の問題でもフリーターでも食べられるのが勉強以外のアクティビティを選択していろいろな意味で評価される時代でしょう。私たちの頃はどにか何とか大学を卒業し就職してそこで食べていかなければという時代でしたから。そういう意味では今の人は羨ましいですよ。



橋口 昔に比べると、学生も選択の幅がかなり広がったわけですね。

齋藤 ええ。ただその選択の幅の中に「勉強する」というのがあることを忘れられてるのは我々に責任があると思っています。

学生が勉強するにはやはり先生が努力し、そういうふうに向ける必要があります。私も学部学生の頃は勉強しなくて、医学部の大学院に入ってから初めて周囲にいた教授らとの関わりにより勉強に目覚めました。そういう経験からしても指導者の熱意は重要だと思えます。

●●● 学問を尊重する
約束を守る
平和を愛する

橋口 今、大学改革が叫ばれています。長崎大学ではこの二十一世紀に何を指針に進んで行こうと思っていますか？

齋藤 やはり優秀な人材を世の中に送り出すってことだと思います。それで我々が長崎大学の学生に望むことは、まず一つ目、「学問を尊重する」。つまり学問は大事なものだということをはわかってもらうことが必要だと思えます。それがわかる人というのは、自分は何も知らないということをはわかっていない人なんです。そういう人間はどに行っても使

ってもらえません。逆に自分は何でも知ってるぞという人はいちばん使いにくいでしょう。

橋口 自分は何も知らないとなると、いろいろ勉強しようと思えますものね。

齋藤 はい。そうなる人間謙虚になりまますから。そして「自分は、約束を守る」ですが学問を尊重する人は自然に時間や約束も守るようになるもの。そういう人は周囲に信頼されます。そして「自分は、平和を愛する」、やはり長崎大学を卒業した人は世界中の誰よりも平和の尊さを知っている人であってほしい。以上の三つで、基本的な学力と人間性を身につけて世界へ出てもらいたいですね。

その中には学問を志す人もいてほしい。そして長崎大学や世界中の大学、研究所などでアカデミックな分野で活躍してもらいたいです。長崎大学もまた将来的には研究という点で世界的な拠点をいくつか思っていますね。

インタビューー:

橋口 奈緒 (はしぐちなお)
1972年、長崎市生まれ。
横浜国立大学を卒業後、
NBC長崎放送へ入社。
アナウンサーとして活躍中。
現在、深夜のニュース番組「MidnightNBC」
(木24:55~)、(金25:30~)を担当。





「一生懸命、教育を
している大学」をめざす

橋口 今までのお話を聞いていますと、大学は机上の勉強以外にも学ぶべきものがたくさんあるようにですね。

齋藤 そうですね。我々教える側にしても講義のたびに自分が初めて学生に学ぶという態度が望ましい。そして学生諸君も一生懸命勉強に打ち込み批判するべきところがあれば率直に伝える。そうしてお互いがいろいろな情報交換をしながらよりよい教育をめざしてきたい。そして近い将来「長崎大学は一生懸命教育をしている」という社会的な評価を得たいですね。毎年千七百人の方が卒業するわけですからその人たちが自分はいい大学にいたと思うければ「おもしろがっていても宣伝してくれません」。

橋口 今後は少子化で学生の数も全国的に減っていくでしょうし、そういう意味で長崎大学の魅力をもっとアピールする必要があるですね。

齋藤 そんな時こそ「長崎大学はいい教育をしている」「教官は皆、一生懸命だ」というような評価が社会に広がっていれば、きっといい結果につながると思います。

実は、一九八〇年代に全国の四十七都道府県の中で二〇一〇年までに常に人口が減少するだろうと予測された県が二つあります。長崎県と秋田県です。実際の二十年間、予測通りに毎年一%ずつ減ってきています。長崎県の場合、亡くなっていく人の数で減少するよりは生まれる赤ちゃんが少ないのが高校卒業後の十八歳以降の人が都会へ出るというところが一番の原因です。現在、長崎大学に入学する七割以上が長崎県内の方ですから、その構造から見ると長崎大学の入学志願率というのは減る一方と見ていいと思います。

その地域の現状に対して長崎大学がどの

ように貢献できるかという、やはり学問と研究と教育なんです。それを通して情報を発信し、人を集めるのです。これは県や県内の産業、そして観光の分野ではできないことです。

市民との交流を深める
新しい「ジョン」

橋口 国立大学というのは、市民あつての大学という面も非常に大きいと思います。市民との交流という点ではどういったジョンをお持ちでしょうか？

齋藤 来年度以降四、五年の間に、水産学部や工学部の校舎が改築・改修で一新する予定です。そこには大きな教室ばかりではなくて、ミーティングルームやセミナー室などでもできるでしょう。そういったスペースを市民の生涯教育に大いに利用してもらいたいですね。そして学生たちによる音楽会や芝居などもさまざまな催しやパフォーマンスをもっと市民にアピールし、一緒に楽しんでいただきたいとも思っています。

長崎大学の学生は、大学でただ勉強しているだけではなくて、街の賑わいや経済面などでも長崎に活力を与えています。他にも家庭教師、コンビニやスーパーの深夜のアルバイトなど、市民生活の中の自立したいところではあります。学生たちの貢献度というのは高く、市民とのつながりもたいへん大きい。そういう点も理解してもらいたいですね。

橋口 これからもっと市民に開かれた大学を打ち出したいということですね。

齋藤 ええ。市民の多くは大学には入りづらいと思っている。とても残念なことですが。実は私、医学部の学部長の時、「ご利用のない方は遠慮下さい」というような立て看板を徐々に外していきました。これからも皆さんと相談の上、警備や物品の管理に支障のない範囲で開放できるところはそうしていきたい。市民との本当の交流はそこから始まると思っています。

留学生を獲得するための
方法を考える

橋口 外に開かれたという意味では、留学生にしてみてもいいかと思いますが、長崎大学には留学生が非常に多いのですが、長崎という土地柄もあるのではないかと、また今後の国際交流にいろいろなことをお考えですか？



齋藤 今、長崎大学には二百名余りの留学生がいますが、長崎は古くから近隣の国との関係が深く、台湾や中国、韓国の卒業生がたくさんいます。ただ、留学生全体の数は二〇四〜五年、横ばいです。これから本腰をいれて対応して行くつもりですが、これはただ増やそう、増やそうというのではなく、タメなんです。

実は毎年二百名の海外の高校生を日本政府が全世界から呼び集めて、一年間の日本語教育をして、国内の大学を自由に選ばせているシステムがあるんです。その多くは東京や大阪の大学を選んでるのが現状です。まあ、いろいろ事情があるわけですが、今後、そういった留学生を獲得するための方法や戦略を考える必要があるでしょう。

●●● 留学生が
街をやさしくする

齋藤 実は「三〇三月」一緒に暮らしていた私の母親が八十九歳で他界したのですが生前、大病院に近いところに住んでいて、近所を朝晩、散歩してたんです。石畳の道を、歩いて、ランナーを押しながらかゆり歩いていて、お通りすがりの留学生たちが皆、声をかけてくれたんです。彼はほんとに自然に老人をいしみて散歩に出てたんです。そして二つの間に



か他の医学部の学生も声をかけてくれるようになったんですね。ある日、母が「長崎大学の学生さんは卒業するといってお医者になる」「二つ三つです。」「なぜ？」って聞くと、「やさしいから」。

たまたま母の話でしたが、そういつかさやかなエピソードが実は大切なんです。それがいい評判として世間でつながっていく、あの先生は長崎大学医学部の人だからきつと二つ三つで、大病院へ来る患者さんもいるでしょう。だから、留学生って大事なんです。

●●● 留学生の支援には
行政の協力が必要

橋口 留学生は勉強の面以外でも、慣れない土地で暮らすわけですから、いろいろと難しい部分を抱えていると思います。

齋藤 大分県などでは、ずっと前から県営、市営住宅を留学生に開放するなどのことをやっています。長崎市もそのうち、たいていをやっていたんですけど、いろいろな事を我々が今まで何も言わなかったことも良くな

たですね。

留学生が来ることは、長崎大学の質の向上につながる。と同時に、市民の方にも交流を通じていい影響を与えると思います。たとえば日本人が不得手とする人付き合いの方法も彼らはすごくいいものを持っている。それを皆さんに勉強してもらいたいと思ってるんです。

橋口 留学生には生活面の支援が必要なんです。

齋藤 ええ、彼らがここに来た時、落ち着いて勉強できる生活基盤がある程度まで確保することは大事です。また長崎という街は留学生諸君がアルバイトするには仕事が見つけない

くないなと、難しい点があります。そこも市の協力が必要になって来ます。

話は飛びますが、市民の方々が、留学生にいろんな形で長崎らしいやさしさや律儀さを感じた気持ちの広いところを見せてくださると、留学生が国に帰った時、「長崎は素晴らしい」となる。すると後輩も、「じゃあ長崎に」といつかつになるわけです。ですから大学の中だけで、留学生が減って来たから増やせと、してもダメなんです。やはり多面的にやらないと。

また長崎が留学生を歓迎しているという雰囲気ももっとつくるべき。その点でも、我々は地域の人々にきちんと説明していなかったと反省しています。

橋口 なるほど。今後、長崎大学がますます発展していくことを期待していきたいと思えます。

今日はどうもありがとうございました。

齋藤 これまで以上に、プレス・メディアの方には長崎大学の良い面も悪い面も、報道していただきたい。と、どうぞよろしく願っています。

橋口 ありがとうございました。



インタビュー会場

長崎大学医学部ポンスペ会場



【OURA CATHOLIC CHURCH】 大浦天主堂

写真A

所蔵:(株)江崎鑑甲店・江崎浩二氏
[サイズ縦14.7cm×横10.0cm セピア色]

竣工直後のものと思われる。中心に高く3本の尖塔がそびえ、金色の十字架が輝いている。「天主堂」と書かれた下方にバラ窓があり、その右側の壁面に長いはしごがかけられている。壁面の作業の仕上げであろうか。

所蔵:長崎大学附属図書館

写真B [サイズ縦18.9cm×横25.8cm モノクロに彩色]

明治中期の大浦天主堂。その後、原爆で一部被災したが改修され、1953(昭和28)年に国宝に再指定された。



創建当初の大浦天主堂

世界に誇る、 珠玉のコレクション

写真技術は日本が開国する前後に長崎で確立し、日本全国に伝わりました。当時、日本の写真術の開祖と称される上野彦馬らが活躍。膨大な数の長崎の写真が残されており、長崎は写真史においても重要な場所といえます。

長崎大学が所蔵する「幕末・明治期 日本古写真コレクション」の内容は、主に外国人居留地である長崎・横浜を中心に、東京、京都、大阪、神戸やその他の観光地の風景・風俗・人物などを撮影したものです。その多くは当時の職業絵師により彩色されています。総点数は約6,000点(2002年3月末日現在)。近代日本の生い立ちを研究する貴重な資料として、我が国多数のコレクションになっています。

このコーナーでは長崎大学が所蔵するコレクションを基にそれにまつわるエピソード等を交えながら紹介していきます。

フランス流の洋風木造建築

グラバー園への坂道を登りながら見上げると、真正面に白くそびえ立つ大浦天主堂。長崎の誇るローマ・カトリック教会である。この教会は長崎で殉教した二十六聖人にささげられたもので、日本教区長シリアル神父をはじめフレシ神父、ブレイジャン神父らの協力で新しい教会が創建されたのは一八六四(元治元年)十二月末のことであった。

建築様式はフランス流の洋風木造建築でゴシック調とバロック調の混交といわれている。施工業者は天草出身の小山秀之進であった。林一馬氏(長崎総合科学大学教授)は、ローマのイエズス会本山山イルジェス教会風の古典的様式を範とし、日本人工匠たちの伝統的技法と創意工夫が加味された特異な外観意匠となっていると指摘している(『長崎の教会堂』二〇〇二年)。明治日本のデザインの粋が形象化された建物であった。

上野彦馬と江崎家

写真Aの撮影者は上野彦馬(一八三八―一九〇四)である。彦馬が中島川畔(新大工町七三)に「上野撮影局」の看板をかけた開業したのは、彦馬二十四歳の一八六一(文久二年)のこと。日本で最初の職業カメラマンとして意欲にもえて活動し始めたころである。この写真は、江崎家に伝わる緑色緞子地唐草模様表紙の分厚いアルバム(縦二六・四×横三八・四)のなかの一枚である。江崎家は上野家とは縁戚関係にあり、彦馬の遺品として譲られたものであるという。

この初期の天主堂は風雨による被害をうけ、一八七五(明治八年)、一八七九(明治十四)年に二度の改修が行われている。一九三三(昭和八)年に国宝に指定された。



Associate professor
Shigeru Miyashita

Professor
Seishi Yamano

Professor
Akifumi Fukui

Associate professor
Jiro Mikami

Professor
Ibuki Horiuchi

Project Start
プロジェクト 進

【教育学部音楽教育講座】

地域と響きあう
新しい創造の場を
求めて



近年、個々で展開されがちだった先生たちのマンパワーを、お互い組み合わせることで新たな魅力を掘り起こそうという雰囲気は大学内に起こっています。その鮮やかな形として、教育学部音楽教育講座の先生たちの活動があります。教育学部音楽教育講座のこの秋からの始動をのぞいてみました。





福井 昭史 教授

小・中学校の音楽の教員の教育、指導も行う。「人は年齢や発達段階に応じて、同じ音楽でも聴き方が違います。切り口を変えただけで、興味を持ち始めるのでもあるんです。」



山野 誠之 教授

市民グループの「長崎県音楽保存会」の会長も務めている。わずかな手がかりをもとに昭和初期に演奏されていた曲の復元も行っている。



堀内 伊吹 教授

「よく言われるけど、オンカクのカクは、学びではなく、楽しむこと。そして、音楽を象徴して表現します。音楽の響きを生かす企画をたくさん考えています。」

音楽も、教育も キヤッチボールが 大切です。

大学の研究情報を
柔軟に発信していく試み

歌を歌ったり、楽器を弾いたり、CDを聴いたりするのは大好きという方は多いけれど、「音楽の研究」というと、いさべんに腰が引けてしまいがち。でも実はそんなことありませんよ、とおっしゃるのは堀内先生。

「音楽という分野はいわゆる、大学での研究から抱くイメージとは、異質かもしれませんが、音楽の基本は感じたままに自由にと世界ですから、そこをたくさんの方と共有したいと思っています。私たちはそれぞれ、音楽を創ること、音楽を演奏すること、音楽を教育する行為そのものを研究の対象としています。ですから、私たちが素材をたくさん持っています。それを放り出しますから、みなさんは寄って楽しんで欲しい、と考えました。それは私たちのしている研究の紹介でもあるわけです。」

音楽教育講座の先生らによる地域へ向けた活動が顕著になったのはごく最近のこと。開かれた大学をという時代の要請もあった。しかし音楽科教育学を専門とする福井先生はその必要性をいぶん前から強く感じていたようだ。「外に積極的に働きかけ、社会と接点を持たなければならぬと思ってました。音楽にしても教育にしても相手とのキヤッチ

ボールが必要なんです。投げて受けて、評価してもらおう。それを絶えずやるのが大切だと。音楽はひとりではどうにもならないものだから。」

五人の個性の融合から生まれる 未知の音楽

教育学部音楽教育講座で教鞭をとっているのは、福井先生(音楽科教育学)、山野先生(音楽史・民族音楽)、堀内先生(器楽ピアノ演奏)、三上先生(作曲学)、宮下先生(声楽・ドイツ歌曲)の五人。

この五人の先生らが教育学部で担当しているのは、学校教育教員養成課程の音楽選修の学生と、情報文化教育課程の芸術文化コースの学生。つまり、学校の音楽の先生を養成すること、地域の音楽文化を担う人材を育成することを目的に、五人がチームワークを組んで、感性豊かな学生を育てているのである。

しかし今まではそれぞれソロでの個人的な活動はたくさんあったものの、講座スタッフが全員出動という形の活動はなく、「このチームワークを外向きに発揮する機会はありません。個性が強いからその調和はもっと魅力的

なはず。思いもよらないハイモーターが誕生する

ことだろう。実はこの秋、地域に向けてのひとつの試みとして五人の先生らは、ワークショップ「コンサート」を企画、好評開催中だ。これは先生らがそれぞれの専門分野を活かして演奏を交えながら楽しく一般市民に披露するいわゆるワークショップで、十一月の週末を利用して計六回行われることになっている。「参加した人がちょっとだけ癒されて元気になる。そういうコンサートになったらいいですね」と堀内先生。「毎日忙しいお母さんも、お子さんを連れて来て欲しい」という福井先生は人間の生活は音楽なしでは成り立たないという。「最近、心身のバランスをとりもどすために音楽療法というのもあるように、音楽を含む芸術が人に果たす役割は大きい。特に音楽は直接、心に働きかけるので、現代社会になくはないものだと思う。」

地道なアウトリーチ活動が 教えてくれたこと

堀内先生が「ボエ」というバンドを組みアウトリーチ活動をはじめてから十年以上になる。これまでテレビや新聞などマスコミにも多く登場しているのでも、存じの方も多しはずだ。病院、公民館、小学校などを声をかけてくれたところへは必ず出かけたという地道な演奏

思わず聞き惚れる宮下先生のハルトンの歌声。奥様（ピアノ奏者）と一緒にソロ活動もやっています。「馴染みのないジャンルの音楽でも、聴かず嫌いにならない」。



宮下 茂 助教授

来年開催されるゆめ総体の行進曲の編曲を担当。今年の夏はその楽譜制作に追われ、大忙しでした。「吹奏楽の指導でお悩みをお持ちの方は相談に応じます」。



三上 次郎 助教授

音楽教育講座のホームページ
<http://www.edu.nagasaki-u.ac.jp/depart/music/>

音楽教育講座の先生による講演・演奏のご相談は、お気軽にどうぞ。
教育学部 095-847-1111(代)



ボエ

【国際交流】

音楽教育講座では、韓国の慶北大学校芸術大学と音楽交流を行っている。これは、両校の先生と学生たちが交互に相手校を訪問し、音楽会やセミナーを通して交流を深めようというもので、昨年で「日韓音楽交流会」は10周年を迎えた。これらの行事は一般に公開され、地域の国際文化交流にも寄与している。1991年に締結された学術交流協定に基づき、研究留学生も相互に受け入れている。また今年の5月18日(土)には、大学内の中部講堂にグランドピアノが設置されたのを記念したコンサートが開かれたが、その折に慶北大学校の沈松鶴先生がゲスト出演され音楽教育講座の先生らと共演するなど、交流は更に深まっている。



韓国の慶北大学校の先生らと教育学部の玄関正面にて。

活動の現場では、すぐ目の前で食い入るように演奏者を見つめる人々がいる。「キチンとしたホールでやる緊張感とは別の、肌で感じる恐さみたいなものがある。逆にいえば、いい刺激と緊張感。それが演奏する人間を鍛えるのだと思う。」「生きものとしての音楽を感じる瞬間、恐怖は快感に変わり、演奏者と聴く者は独特の一体感を味わう。目に見えない音楽の不思議なパワーがここにある。」

「このように学内とはまた違った有意義な体験ができるアウトリーチ活動は、地域にとっても大学にとっても多様な可能性を秘めている。」「だからもっと認知された方がいい。こく自然に、学生も巻き込んで新しいつながりにしていけたらいいのだけれど。」「ボエ」で数多くの経験を積んで来た堀内先生は、これから

先の十年に向けて、大学を拠点とした新しい活動を模索している。

地域に密着した活動を今後継続的に展開

ところで音楽教育講座では時々、長崎市内のホールなどで学生たちが演奏発表を行っている。十二月二十日(金)には、今年オープンしたばかりの、ときがかりホールにて大学院生と先生らによるクリスマスコンサートが予定されている。福井先生は、日頃の成果を発表できる機会があると、学生たちもそれだけ練習に身が入ります。市民の皆さんにはぜひ気軽に聴きにきて欲しいですね。と、学生たちもまた地域の人々とながらうことで成長することを期待している。

～ 素朴で美しい明清楽の旋律～ by 山野誠之教授

明清楽という言葉は明治の初め頃、日本で生まれました。おおもとは1830年代前後の中国の南方の民衆音楽です。それが中国ではなく、長崎に残っているんですね。明清楽の中には日本的な感覚も充分含まれていて、私たちは明清楽を中国音楽とはまた別のジャンルとしてとらえ、日本の伝統音楽という認識でやっています。明清楽のメロディは、独特の節まわしで何ともいえない素朴な美しさがあります。長崎大学でも、郷土芸能表現法といった授業をおこして学生たちに教え、継承しています。



年季の入った胡琴。
哀愁のある音色に
心が触れてくる。





いいたか放題

第1回はKTNアナウンサーとして活躍中の森千夏さん。
学生時代のこと、仕事のこと。素直な思いを語っていただきました。



無知な私は、よく恥をかく。
大学時代もっと勉強してたら
良かったなあ。

「長崎大学について何でも構わないので原稿を書いてください。」
と依頼され、のんきに「いいですよ。」とお答えしたものの、考えて
みると私は大学時代、皆さんにご紹介できるほどのことは何もや
っていません。アナウンサーというと博識で、英語が堪能で…と思
う方もたくさんいますが、私は全然。長崎弁しか話せませんし。

小さい頃からアナウンサーに憧れていましたが、スポーツに燃え
る女の子だったので、小学生から大学生までスポーツ三昧の生活で
した。長大ではバドミントン。授業も行かず、練習と飲み会ばかり
で日付けが変わった深夜に家に帰り、親に怒られる日々でした。
私にとって、この時を共に過ごした友人たちが大学時代に得た最
大のもの。今でも何かがあると助けてくれる最高の仲間です。

卒業後は縁があって希望していたテレビ局に入社。アナウンサー
として働くようになって六年目になります。「テレビ局です。」とい
うだけで会社の社長やスポーツ選手など長崎の著名人と会ってお
話ができる、本当に不思議な仕事だなあと思います。無知な私は
恥をかいてばかりで、「大学時代やっぱりもっと勉強してたら良か
ったなあ…。」と後悔する日々ですが(笑)。

森千夏(もりちなつ)
長崎市生まれ。28歳。1997年、
長崎大学経済学部経営学
科卒業。同年、(株)テレビ長
崎(KTN)入社。現在、「KTN
スーパーニュース」(月～金17:
55～18:55)や「めざましテレ
ビ」(月～金5:55～8:00)の
長崎からの中継などを担当。

◆自覚症状はないけれど…。

”脂肪肝“、耳にされた方も多いと思います。脂肪肝とは肝臓、特に肝細胞の中に脂肪が沈着した状態をいいます。なんの自覚症状もないのに、健康診断や人間ドック、献血などで血液検査を行うと、軽い肝機能異常（GPTの軽度異常）が見つかることがあります。このGPTの軽度異常の原因の多くが実は脂肪肝なのです。脂肪肝になった肝臓は丸みと弾力が増し黄色みを帯びています。その肝細胞を顕微鏡で見ると、脂肪の沈着でパンパンになっています。

◆肝硬変に進行する可能性も。

脂肪肝の原因として最も多いのが食べ過ぎ（栄養過剰）や運動不足による肥満、そしてもちろんお酒の飲み過ぎもあげられます。これまで肥満に伴う脂肪肝は、肝炎ウイルス（B型、C型）やアルコールが原因の肝臓病と異なり、肝硬変などの重い肝臓病に進行することは無いと考えられていました。しかし、最近になって肝硬変に進行する例が少なからずあることが解って来ました。近年、重い肝臓病に対して肝臓移植が行われ救命できるようになりましたが、脂肪肝はドナーに適さない、つまり脂肪肝を移植してもうまく働かないとされています。

◆内臓型肥満の人に多い、脂肪肝。

肥満の人、なかでも内臓に多くの脂肪が沈着している内臓型肥満の人に脂肪肝が多いようです。また男性の方が女性（特に閉経前）よりも内臓型肥満になりやすく、実際、脂肪肝は男性に多く見られます。内臓型肥満は糖尿病、高血圧、動脈硬化による脳梗塞や心筋梗塞などの生活習慣病（成人病）と深い関係があります。

◆生活習慣の改善で、脂肪肝を解消！

場合によっては重い病気を引き起こす脂肪肝ですが、ご心配はいりません。脂肪肝は生活習慣の改善でほとんど解消されます。つまり食事を見直したり、適度な運動（ジョギング、ウォーキングなどの有酸素運動）を行って体脂肪を燃焼させ体重をコントロールすれば、GPT値は速やかに低下し、脂肪肝も改善し、内臓脂肪も減少するのです。

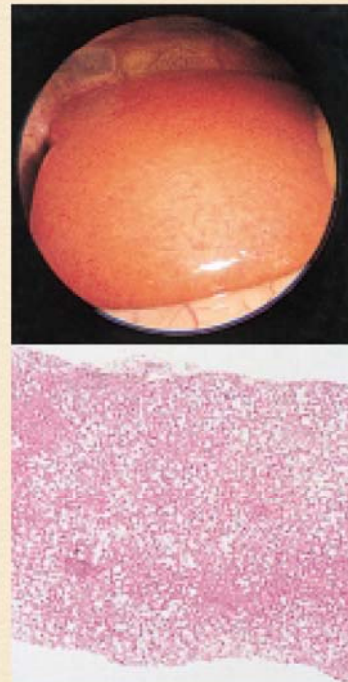
脂肪肝や内臓型肥満の状態は、超音波検査やCTなどで簡単に知ることができます。気になる方は最寄りの病院で検査をおすすめします。または当センターにご相談いただいても結構です。

病氣予防の処方箋

脂肪肝



なんの症状もなく元気なのに、健康診断や人間ドック、献血などで血液検査を行ったら、軽い肝機能異常（GPTの軽度異常）が見つかった、という方が結構いらつしやいます。このGPTの軽度異常の原因の多くが、実は脂肪肝なのです。男性に多く見られるという脂肪肝とは、そもそも何なのか。その正しい知識と対処法をご紹介します。



上／脂肪肝（腹腔鏡を用いて肉眼で見た状態）
 下／脂肪肝（顕微鏡で見た肝生検組織像）

保健管理センター 中尾 一彦 助教授

〒852-8501 長崎県坂本1丁目7-1 TEL095-849-7532 FAX095-849-7533
 e-mail : kazuhiko@net.nagasaki-u.ac.jp



環境科学部
環境政策コース3年
松尾 あゆみ
福岡県・香住ヶ丘高校出身



環境科学部
環境政策コース3年
後藤 聡子
福岡県・筑紫女学園高校出身



環境科学部
環境政策コース3年
小財 顕
兵庫県・宝塚東高校出身



環境科学部
環境政策コース4年
中竹 美保
福岡県・朝倉高校出身

よりよい未来を見つめて
地域で「環境」について取り組む
学生たちの声を紹介します。

◆ ネイチャーゲームは環境教育。
「楽しいだけ」ではありません。

便利な生活とひきかえに、資源の枯渇、廃棄物等のゴミ問題、そして環境破壊など大きな問題に直面している現代社会。その現状をよりよい方向へ導く為に、まずはひとりでも多くの人々が、自然や環境「について知ることが大切だ」という小財顕さん。その実現のために、ネイチャーゲームはとて素晴らしい環境教育だと思っています。

「ネイチャーゲームとはアメリカのナチュラリスト、ジゼル・コネル氏が考案した自然教育の1つの手法で、たとえば、動物あてゲームや、木の葉のカルタとり」など、自然の中でのゲームを通して一人ひとりが自然を五感で感じながら、その多様性やさまざまな生き物の存在、食物連鎖などを学んでいくもの。それは、自然への気づきを高めていき、延いては環境問題へ目を向けることにつながるというわけだ。

小財さんは、(社)日本ネイチャーゲーム協会「の指導員として県内で小学生や初任者

教員等を対象にネイチャーゲームの普及活動を行っている。「今年度から小中学校で総合学習の時間が増え、環境教育の必要性も注目されていますが、ネイチャーゲームはその教育にふさわしい手法だと強く感じています。」

実はネイチャーゲームは、自然の中でただ遊び、楽しいだけで終わる」といった批判や誤解もある。しかしそれは人間として豊かに成長するためというネイチャーゲームの理念が十分に普及していないためというのが実情のようだ。「私自身、ゲームを体験してから身近な自然で見えなかったものが見えて来たり、あらためて自然の不思議を感じるようになってきましたね。」

◆ 大学生はごみの分別ができない？
環境意識が低い？

ところで、環境に対して高い意識を持つ学生がいる一方で、そうではない学生もやはりいるようだ。「大学生はごみの分別ができない」という批判を聞くたびに悲しい思いをしているという中竹美保さん。彼女の卒業研究のテーマは、「ごみ処理の有料化」問題だ。現在約55%の市町村で実施されている有料化の一番の目的は「ごみの減量だが、そこにはもう一つの狙いがある」という。「環境意識の低い人たちに有料化という経済的インセンティブを

お国自慢
【モロッコ編】

多彩な個性を放つ、
ミックスカルチャーの国。



Maaninou Nabil
マニノー・ナビル氏(26歳)
大学院生産科学研究科水産学専攻
海洋生産システム科学分野



アフリカ大陸の北西部に位置するモロッコは、古くからヨーロッパ・アフリカ・アラブをつなぐ交易の場として栄え、国内にはイスラム最古の王都フェスや商業都市のメクネス、旧市街など「ユネスコ」の世界遺産が六カ所も点在する。「世界遺産の街は、いずれもかつては王都でした。そこでは今も独自の文化が受け継がれ、昔ながらの雰囲気があります。」とナビルさんは懐かしそう。

北は地中海、西は大西洋に面し、南東にはサハラ砂漠が広がるその多様な土地柄と近隣の国の影響でミックスカルチャーが育まれたこの国では、建築物、衣装、音楽など地域ごとに

働かせ、ごみ問題の深刻さに気付いてもらうことなんです。」

中竹さんは現在、有料化検討中の佐世保市の審議会にオブザーバーとして参加している。「それでも大学生や単身者のゴミ出しマナーの悪さを耳にしました。そんなことはない」と言える人はどれだけのしょうか。」

◆ 今や、廃棄後の処理の問題では済まされない「ごみ問題」!

身近なごみ問題に関心を持ち、地域での活動にも関わる後藤聡子さん。彼女は循環型サイクル社会に向けて「ごみ問題の課題がさらに複雑になっている」と話す。「各市町村は独自の工夫や努力を試みていて、私はその多様な対応ぶりに面白味を感じています。たとえば可燃ごみを長崎市は、燃やしてもいいごみ」とし、西彼・長与町では「火をつければ燃えるものは全て燃えるごみ」という考え方をすすめています。」

また後藤さんが長与町で町民の話し合いをヒアリングした際、「散歩中に犬のフンを踏んだ。飼い主に責任感を持たせるため、犬に税金をかけては?」といった意見があった。そこで生活する住民ならではの思いもよらないアイデアだったので大変印象に残っているそうだ。

◆ これからの環境教育に、本当に必要なのは…。

大学での研究や、ネイチャーゲームの体験を通して、あらためて環境教育について考えはじめた松尾あゆみさん。「日本が環境教育を本格的に位置付けたのは平成三年頃から、それから十年が経ちましたが上手く行われていないのでは」という問題が起っています。「多くの人が、森林の過剰な伐採や地球温暖化の原因は何なのかといった話題を新聞や雑誌、テレビなどでよく耳にしている。ではそれらを解決するために、一人ひとりにできることは何なのでしょう。私はそれについて教えることが大切だと思うのです。」

今後、松尾さんら環境科学部の学生たちによる草の根的な環境活動がいつか広く地域社会へ浸透し、よりよい未来へつながることを期待したい。

【ネイチャーゲーム】

自然あふれる場所での遊びとネイチャーゲームを楽しむ子供たち。そのプログラム(野外活動)の内容は多彩で現在、100種類以上。

年齢や感受性に応じた環境教育が行われる。

環境科学部 環境政策講座 小野 隆弘 教授



環境問題は「環境」の問題ではなく、「人間と社会」の問題です!

環境問題は人間と社会の問題。だからこそ地域という現場での取り組みが、地球規模の環境問題の解決には不可欠なのです。今回紹介した環境教育とごみ問題とはその性格に違いがありますが、とりわけ90年代の循環型社会への政策転換によって、環境政策は行政に依存した仕事だけでは済まなくなりました。行政と事業者と住民それぞれが自発的で自主的な活動に取り組むことが環境政策成功への試金石となっています。現在、小野ゼミでは都市ごみ管理の日独比較研究を主要課題にし、環境問題では先進国といわれるドイツの二つの研究所との連携を深めながら、研究を進めています。



(社)日本ネイチャーゲーム協会 <http://www.naturegame.or.jp/>

個性を放つ。「食も多彩で、伝統料理も多い。小麦粉を蒸すククスが有名ですが小羊や魚介類の料理もおすすめです。」

「このモロッコはイスラム教徒の国。人々は厳しい戒律の下で暮らしていると思いきや、宗教的な制限がありません。男性と同性く社会で活動しています。また日本の生活文化と比べて、私の国では親をたいへん尊敬し、大事にしますが...」と親子の在り方に大きな違いを感じている。

現在、モロッコ国民の話題はとらいつて、今年八月、三十七歳の新国王が一般の女性と結婚したこと。「イスラムの世界で初めて花嫁の姿がテレビに出るなど、大きな注目を浴びているそうだ。」



赤文字については、一般の方も常時(大学業務時間内)利用できます。
運動施設については、許可を得て使用が可能です。

長崎大学は、3キャンパスと
8学部で構成されています。

学生数約8,900名、職員数約2,000名

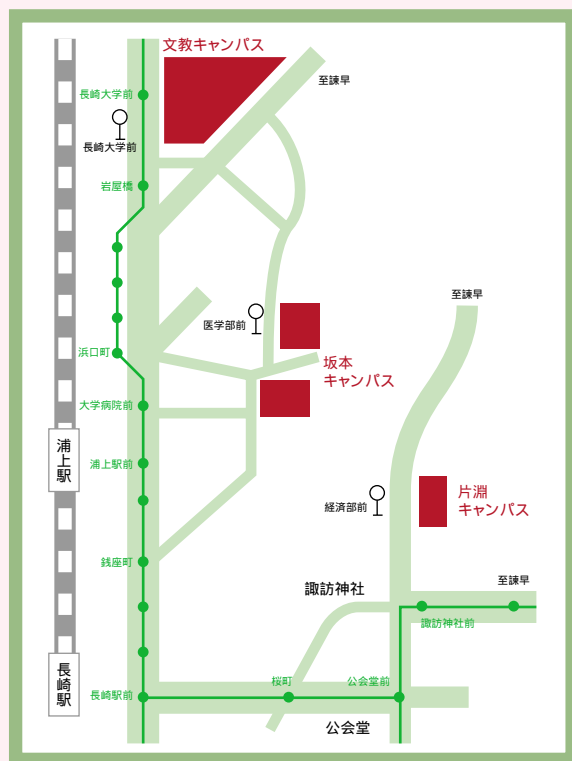
文教 キャンパス

- 【教育学部】
- 【薬学部】
- 【工学部】
- 【環境科学部】
- 【水産学部】



片淵 キャンパス

【経済学部】



誕生秘話

長崎大学シンボルマーク



帆船マークに
込められた
熱き想い。

長崎大学の各種印刷物や生協で売っているノート等に描かれた帆船マークをご存じですか。既に半世紀以上も親しまれているこのマークは江戸時代、長崎に来航したオランダ船をモチーフにした長崎大学のシンボルマーク。原案者は、故永井隆博士の実弟で、熱帯医学研究所元事務長の永井元(はじめ)氏です。

長崎大学は昭和24年5月、長崎医科大学、同大学附属薬学専門部、長崎経済専門学校等を包括して発足。同年10月、大学構成員が連帯意識をもって新大学の発展に期するよう、心の拠り所としてシンボルマークが制定されました。

採用されたのは学内からの募集・検討を経た結果、昭和23年に旧医科大のバッジとして使用されていた永井氏原案のマーク。制定にあたり旧医科大の頭文字を新大学のそれに変える等の多少の手直しが施されました。

永井氏は、オランダ船のデザインについて「長崎・出島にオランダ船がもたらした西洋文明によって日本は開国後、急速な近代国家へ脱皮ができた。その係わりを表現してみたのです。」

また終戦直後で、旧医大・薬専が原爆被害で全くの廃虚だった当手を振り返り、「再起復興へ向けて大学人は苦難の途を歩いていた時であり、荒廃した世の中で一致団結して事に当たろうとする意欲がバッジをつくるきっかけになった。」と後に語っています。

当時、そのバッジは大学人全員に支給され、皆、誇りを持って胸につけていたそうです。大学を愛する先人達の心意気が伝わるエピソードです。

坂本キャンパス

【医学部】
【歯学部】



誕生秘話

長崎大学シンボルマーク



帆船マークに
込められた
熱き想い。

長崎大学の各種印刷物や生協で売っているノート等に描かれた帆船マークをご存じですか。既に半世紀以上も親しまれているこのマークは江戸時代、長崎に来航したオランダ船をモチーフにした長崎大学のシンボルマーク。原案者は、故永井隆博士の実弟で、熱帯医学研究所元事務長の永井元(はじめ)氏です。

長崎大学は昭和24年5月、長崎医科大学、同大学附属薬学専門部、長崎経済専門学校等を包括して発足。同年10月、大学構成員が連帯意識をもって新大学の発展に期するよう、心の拠り所としてシンボルマークが制定されました。

採用されたのは学内からの募集・検討を経た結果、昭和23年に旧医科大のバッジとして使用されていた永井氏原案のマーク。制定にあたり旧医科大の頭文字を新大学のそれに変える等の多少の手直しが施されました。

永井氏は、オランダ船のデザインについて「長崎・出島にオランダ船がもたらした西洋文明によって日本は開国後、急速な近代国家へ脱皮ができた。その係わりを表現してみたのです。」

また終戦直後で、旧医大・薬専が原爆被害で全くの廃虚だった当手を振り返り、「再起復興へ向けて大学人は苦難の途を歩いていた時であり、荒廃した世の中で一致団結して事に当たろうとする意欲がバッジをつくるきっかけになった。」と後に語っています。

当時、そのバッジは大学人全員に支給され、皆、誇りを持って胸につけていたそうです。大学を愛する先人達の心意気が伝わるエピソードです。

坂本キャンパス

【医学部】
【歯学部】



熱帯医学研究所・熱帯感染症研究センター資料室

<http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp>

学内探訪



第二室全景

主に衛生動物の乾燥標本を展示。貴重な標本が揃っている。



第一室全景

熱帯病に関する資料のパネルや液漬標本などを展示。



さっさぶんこ

第一室にある「さっさぶんこ」。日本の寄生虫学・衛生動物学会のリーダー的存在の佐々 学東大名誉教授の著書・論文・蔵書が寄贈されたもの。誰でも利用できます。

「さっさぶんこ」のおすすめの3冊



左からアマミノクロウサギ(日本)、アカウサギ(アフリカ)、メキシコウサギ(メキシコ)。世界に3種類しかないムカシウサギ類。全部が揃うのは珍しい。



興味津々!?

熱帯病に関する資料と情報を一般公開中!

世界の人口の約半分は熱帯地域の人々だということをご存じですか。そこにはマラリヤやフィラリア症など熱帯特有の病気があります。人や物が盛んに世界を行き交うようになった昨今では、日本であっても熱帯病はけっして無縁とはいえません。少しずつですが関心を持つ人も増えているようです。

「長崎大学熱帯医学研究所」は、半世紀以上も前から日本で唯一、熱帯医学に関する総合研究を行っている機関です。その研究への理解をより多くの人々に深めてもらうと、同研究所内三階に設けられたのが「熱帯感染症研究センター資料室」です。ここは誰でも気軽に利用できるよう常時、一般公開しています。展示資料は長年にわたり収集、整理、保存されてきた貴重なものばかりで、博物館機能も有します。一九九六年秋には皇太子御夫妻も御来所の際、御覧になりました。



必見!

熱帯のフィールドから集められた貴重な標本の数々。

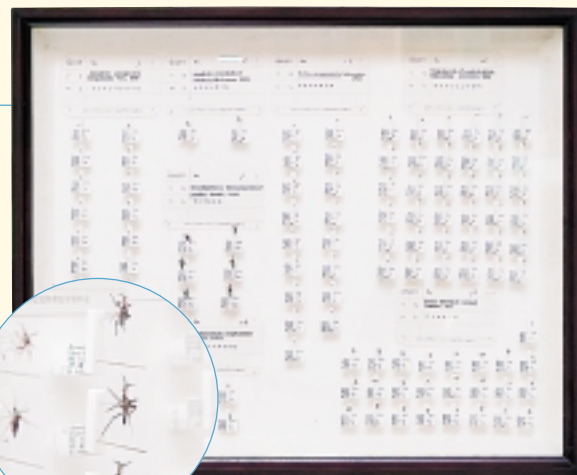
資料室は第一室、第二室の二つに分かれ、第一室には熱帯病に関する資料をパネルなどで展示。仕事や旅行で熱帯地方へ行く予定がある方はぜひ寄ってみるといいでしょう。熱帯病予防のための知識を得ることができ、安心して出発できます。またキングコブラやハブなどホルリン漬けにされた世界の毒蛇の標本もズバリ。見応えたっぷりです。

第二室では主に奄美大島を中心とした南西諸島の衛生動物(蚊、ハエ、アブ、ゴキブリ等)の乾燥標本を展示。その種類と数は全国一と思われるほどの充実ぶり。熱帯のフィールドを駆け回った研究者の熱意が伝わってきます。またなかなか見る機会のないアマミノクロウサギの標本もあります。

近年、遺伝子工学や分子生物学の分野では、研究材料として各種の標本の価値が再評価されています。今後、当資料室の標本類が各方面で利用されることが期待されます。

蚊の標本

これぞ標本づくりのお手本! 種子島で採取した7種類の蚊を緻密な作業で仕上げた。6本の足もちゃんとわかります。



タカサゴキラマダニの成虫のホルマリン漬け

本州、九州、南西諸島に分布する直径4-5mmほどの大きなダニ。吸血すると写真のように大きくなる。



坂本キャンパス
所在地/長崎市坂本一丁目二の四



21世紀COEプログラムに 「放射線医療科学国際コンソーシアム」 が採択

先駆的な研究を行う大学に予算を重点配分する文部科学省の「21世紀COEプログラム」《COEはセンター・オブ・エクセレンス(卓越した拠点)の略》に長崎大学の「放射線医療科学国際コンソーシアム」が採択されました。これにより、今後5年間、欧米の大学や研究機関と連携して、低線量放射線の人体影響の研究教育、低線量被ばくによる発がん機構の解明、予防や治療の開発などに取り組むこととなります。

なお、詳細な内容等については、次号の特集で紹介する予定です。

原爆被爆大楠の由来を 後世に伝えていくための銘板を設置

歯学部正面玄関前に樹齢約90年の大楠があります。この大楠が育成している場所は、原爆落下中心から約700メートル離れた旧長崎医科大学附属病院の玄関前に位置し、同大楠も被爆直後は枯木同然となりましたが、翌年には新芽を出し、長崎大学の復興を見守ってきました。近年、露出した根の傷みが目立ち始めたため、保存整備を行い、由来を記した銘板を設置しましたので、機会があればお訪ねください。

「長崎大学化学まつり」を開催

11月10日(日)10時から15時まで、長崎大学工学部において「長崎大学化学まつり」を開催いたします。このイベントは簡単な化学実験をとおして、化学の不思議な世界を知っていただくために、小学生、中学生、高校生及び一般の方を対象に行うもので、事前申し込み不要で、参加費は無料です。皆様のご参加をお待ちしております。

薬学部 尾野村 助教授 TEL 095-847-1111 (内線2545)

平成14年度 長崎県「土木の日」を 長崎大学工学部が主催団体の一つとして開催

長崎大学工学部が主催団体の一つとして 長崎県「土木の日」が開催され、下記イベントが行われます。皆様のご参加をお待ちしております。

1/イベント&パネル展

日 時◎11月23日(土)・24日(日)
10時～17時(2日間)

場 所◎長崎市浜町「ベルナード観光通りアーケード内」

その他◎ご自由にご覧いただけます。

2/テクノパワーおもしろ体験隊

日 時◎11月16日(土)13時～16時

場 所◎長崎大学文教キャンパス 中部講堂前広場

その他◎小学校高学年を対象に行いますが、申し込みが必要ですので、下記にお問い合わせください。(参加無料)

「土木の日」おもしろ体験隊 係 TEL 095-847-1111 (内線2707)

3/旧国鉄近代化遺産見学ツアー

日 時◎11月23日(土)9時～14時30分

場 所◎JR長崎駅かもめ広場に集合

その他◎募集人員50名(子供だけの参加は中学生以上)申し込みが必要ですので、下記にお問い合わせください。(参加無料)

「土木の日」旧国鉄近代化遺産見学ツアー 係 TEL 095-826-1008

学園祭を実施

11月21日(木)から23日(土)までの間、学園祭を実施いたします。内容の詳細につきましては未定ですが、市民の皆様にも楽しんでいただける内容にしたいと考えておりますので、お問い合わせのうえご来学ください。

学生サークル「全学落語研究会」が 研究発表会「やわた寄席」を開催

サークル活動として落語を研究している全学落語研究会が、その研究の成果を発表するため、12月14日(土)13時30分からNBCビデオホールにおいて、「やわた寄席」を開催いたします。多くの市民の皆様のご来場をお待ちしております。

編集後記

やっと、創刊号を出すことができました。広報誌企画・編集専門委員会では「わかりやすさ」と「親しみやすさ」をモットーに、多くのアイデアを出し合い、議論を重ねて仕上げました。現状では、長崎大学からの一方的な情報発信にならざるを得ませんが、今後は地域の皆様と相互交流のできる広報誌を目指したいと考えています。ご意見・ご感想など、ドジドジお寄せ下さい。

「CHOHO」は、定期的に年4回の発行を計画しています。創刊号に続く2号、3号・・・が楽しみだと皆様に思っていたら、委員会メンバー一同、頑張っていきたいと思えます。

TEL 095-847-1111 / FAX 095-844-2349

E-mail : www_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp

■編集・発行◎長崎大学広報委員会(広報誌企画・編集専門委員会)

■発行日◎2002年10月